



先生が細かく指示を出すのではなく、こどもが自分で考えて行動できる余白を残そう！ 好ましい姿があった時は、思い切り褒めようね！

## どの子も安心できる学校生活のために

こどもの育ちはみんなそれぞれ！  
どの子も安心して過ごせるように、  
それぞれの姿をあたたく認めよう！



### 今、何をしたらいいかを捉えられるように、具体的に話す

片付けましょう。

何をしたらいいのかな？

ブロックはこの箱の中に入れてね。

活動の仕方を具体的に伝える。  
・「準備しましょう」  
⇒「エプロンをつけて手を洗いましょう」  
・ノートをゆびさして「ここに書くよ」など

周りの様子に気付ける言葉かけをする。  
・名前を呼ぶなど、自分にも言われているという意識をもって話を聞けるような援助  
・周りの子の動きに気付けるような声かけ  
「みんな何してるかな？見てごらん」

みんなが何しているか見てごらん。



肯定的な言葉で伝えよう！  
例えば「走らない」⇒「歩こうね」に言い換えると、何をすべきが明確になって、行動に移しやすくなるよ！ 否定の言葉と違って意欲的になれるね！

短い言葉で伝えよう！  
「はさみのりを机の上に置いて、前に画用紙を2枚取りに来てね。」⇒「はさみのりを机の上に置いてね。」できたら「前に画用紙を2枚取りに来てね。」

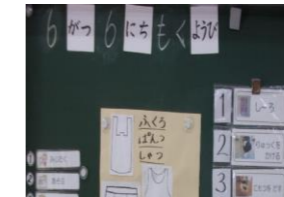
### これから何をしたらいいのかわかるように、視覚支援をする

これから何をやるのかわかると安心感につながる。

- ・何をやるのか
- ・次に何をやるのか
- ・いつ終わるのか「あと〇分で終わります」
- ・行事の前などにビデオや写真で見て学習する



- ・実物→絵カード(写真・イラスト)→文字のみ
- ・時計、カレンダー、砂時計
- ・黒板や掲示板に全体に向けて掲示
- ・カードや補助線等を個人に向けて
- ・事前学習・見本の提示



### 少しずつ「できた！」を実感できるように、スモールステップで進める

生活の中で、手先や手のひらを使った多様な動きの経験を重ねる。

- ・布巾や雑巾を洗う・絞る、蛇口をひねる、お茶を注ぐ
- ・一回結びやりボン結び、ボタンの付け外し
- ・指先あそび、雑巾がけ
- ・重いものを持つ・運ぶ・ひっぱる・押す など

リボン結びができたよ。



### 自信をもって取り組めるように工夫する

今までどうしてた？

前はね...

今までの経験を想起させ、自分でできることや、知っていることを話すことで、自信につなげる。

注意するよりも、できていることを認める声かけをする。  
・「靴がはけたね」  
・「全部食べられたね」  
・「お話をきいていたね」  
・「落ち着けたね」など  
\* ハイタッチ・アイコンタクト・手でグッドなど、その子に伝わりやすい褒め方を工夫する。

これまでの経験を想起させ、自分でできることや、知っていることを話すことで、自信につなげる。

注意するよりも、できていることを認める声かけをする。

- ・「靴がはけたね」
- ・「全部食べられたね」
- ・「お話をきいていたね」
- ・「落ち着けたね」など
- \* ハイタッチ・アイコンタクト・手でグッドなど、その子に伝わりやすい褒め方を工夫する。

嬉しいな。またやろう。



ありがとう。助かったわ。

個性や得意なことが生かせる活動に取り組む。

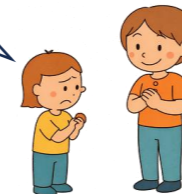
- ・動き回ってもいい活動
- ・「ありがとう」と言われる活動
- ・先生のお手伝いや役割活動

自分で選ぶ(自己選択)

- ・好きな遊びを選ぶ
- ・選択肢の中から選んで取り組む など

### 安心して思いが伝えられるように、こどもの思いを引き出す

先生、どうしたらいい？



話してくれてありがとう。一緒に考えよう。

自分の思いやヘルプを伝え、受け止められる経験を重ねる。

- ・「困ったときは、先生に話してね」
- ・カードで伝える
- ・肩をトントンする(動作で伝える)
- ・言葉で伝える など



深呼吸しよう。



### 気持ちの切替に寄り添えるように、サポートする

安心して活動できる環境をつくる。

- ・自分の荷物置き場、自分の名前や印がついた机、椅子
- ・先生と一緒に安心
- ・少し離れた場所から見て参加できる
- ・休憩できる場所がある など

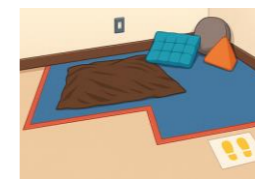
クールダウンできる場所や時間をつくる。

- ・個別のスペース(仕切り・ミニテント)
- ・別部屋
- \* 刺激の少ない落ち着ける空間
- \* 個々のペースを大切に
- ・サイレントタイム(1分全員で黙る時間をつくる)

感情のコントロール方法を知る。

- ・気持ちを表す言葉を知る。「悲しかったんだね」「腹が立ったんだね。」
- ・場面に応じた言葉を知る。「そういうときは『入れて』って言うといいよ。」

- ・怒りのコントロール方法を知る。数を数える・深呼吸する・お茶を飲む・おまじないの言葉
- 好きな感触グッズ 怒りのパロメーター等(我慢ができたらいに褒める、落ち着けたことを承認する)



大阪府人権教育研究協議会の資料より

### 先生も安心して支援できるように、連携する

- ・一人一人の個性を大事にし、サポートする場面と見守る場面、具体的な話し方など、教職員間で共通理解して関われるよう、教職員間のコミュニケーションを大切にする。
- ・担任だけでなく、校内外のいろいろな先生の話の聞いたり、関わったりする機会をもつ。
- ・保護者に遊びや学習、生活、友達関係などの様子を具体的に伝え、成長の喜びを共有するとともに、保護者の不安を受け止め、安心して相談ができる環境を整える。
- ・こどもが次の日の持ち物などを自分で用意したり、簡単な連絡事項を自分で保護者に伝えたりするなど、少しずつ自立できるよう家庭と連携する。
- ・ワクワクひろば、わくわくスタート堺っ子(堺市HPに掲載)を活用する。

#### 【こどもの相談に関わる主な関係機関等】

幼児について相談ができる機関等

- ・各区保健センター
- ・児童発達支援センター
- ・さかいっこひろば

児童について相談ができる機関等

- ・こども相談所
- ・各区役所子育て支援課
- ・あいすてーしょん
- ・ソフィア教育相談
- ・ふれあい教育相談
- ・特別支援教育コーディネーター
- ・スクールカウンセラー
- ・スクールソーシャルワーカー

どんな対応がいいかな？

同じ対応をしたいですね。



今日こんなことがあったよ。

#### 【育ちと学びをつなぐ幼保小の連携】

- ・要録
- ・就学相談
- ・あい・ふあいる
- ・はぐくみシート
- ・幼保小合同研修
- ・各架け橋連携グループ等における連絡会 等

要録は、幼児期の様子や育ちを就学前施設の先生たちが詳しく記入しているよ。小学校での指導にも役立つ情報なので、小学校の先生は、受け取ったら必ず読んで活用してね！



あいの一にはその他にもいろいろな情報が載ってるよ！

